骨を感じる。

編者 A

・今日はあんまりにも印象に残るレッスンをしていただいたので、早速紹介です。

・これは何をしているのでしょうか。そうです。高速・強音刻みについて教えてもらっているのです。肘関節を意識してしっかり動かす。そう我々のふにゃけた音は、骨をないがしろにしていることに端を発していたのです。

・骨は鞄で持ち歩きます。このようにうかつにしまうと職務質問ものです！

・骨を装着して一生の戒めとするコンミスであった。